

平成29年生駒市教育委員会

第6回定例会 議案

平成29年6月26日

生駒市教育委員会



## 平成29年生駒市教育委員会(第6回)定例会議案目録

議案番号	議 案 名	項
報告第10号	平成29年度幼稚園・保育園訪問の結果について	1～4
報告第11号	平成29年度学校訪問(中学校)の結果について	5～8
議案第17号	平成29年度生駒市教育委員会の活動の点検及び評価について	9



報告第10号

平成29年度幼稚園・保育園訪問の結果について

平成29年度幼稚園・保育園訪問の結果について、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和60年4月生駒市教育委員会規則第6号）第6条第5号の規定により、別紙のとおり報告する。

平成29年6月26日提出

生駒市教育委員会

教育長 中 田 好 昭

## <平成29年度定期幼稚園・保育園訪問報告>

### 1 目的

教育長、教育委員、教育委員会事務局職員が幼稚園・保育園を訪問することにより、教育・保育課程の運用、保育内容、安全教育等、保育全般にわたり、幼稚園・保育園の実態に即して、指導助言を行い、各園が主体的に、より充実した教育・保育活動や特色ある園運営が推進できるよう支援する。

### 2 訪問日時及び訪問者

幼稚園・保育園名	訪問日時	訪問者(事務局職員除く)
高山幼稚園	5/31 9:00～	寺田委員
なばた幼稚園	6/2 11:20～	
生駒台幼稚園	6/7 9:00～	
生駒幼稚園	6/6 9:00～	寺田委員・上田委員
俵口幼稚園	6/6 10:45～	寺田委員・上田委員
あすか野幼稚園	5/31 10:30～	寺田委員
桜ヶ丘幼稚園	6/7 10:30～	
壱分幼稚園	6/2 10:15～	
南こども園	5/16 10:30～	上田委員・中田教育長
小平尾保育園	5/16 9:00～	上田委員・中田教育長
ひがし保育園	5/26 9:00～	寺田委員・中田教育長
中保育園	5/26 10:30～	寺田委員・中田教育長

### 3 園からの説明の概要

高山幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山認定こども園開園に向け、北倭保育園と交流会・連絡会、保育参観等を年間計画に位置付けて実施している。園児・保護者が安心してこども園に移行できるようにするとともに、幼稚園が大切にしてきた地域との関わりや保育内容の継承に努める。</li> <li>・今年度は支援を要する園児が多く在籍している。保護者や療育機関との連絡を密にして支援していきたい。</li> </ul>
なばた幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児減少で単数学年となったことから、なかよし散歩や日常の保育交流を大切にし、異年齢交流の充実を図るなど職員一丸となって取組みたい。</li> <li>・地域に愛される幼稚園として認知されている。今後も地域の協力を得て様々な活動を実施していきたい。</li> <li>・県のアドバイザーを積極的に利用し、職員の資質向上に努めている。</li> </ul>
生駒台幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス通園児が多い中、保護者への連絡体制の強化を課題とし、ボードの活用や顔を合わせての報告を推進している。</li> <li>・年度毎、園児の実態を見極め園舎に複数ある空間の有効利用を園児とともに創造し、活用を進めている。</li> <li>・預かり保育利用者の大幅な増加に対する受け入れ体制は今後の課題である。</li> </ul>
生駒幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園になり1号認定児105名、2号認定児29名が在籍する。早延長保育を実施する中、職員間の連絡体制のあり方などを工夫しながら進めている。保護者は預かり時間の拡大を歓迎しており、子育て支援の充実を感じる。</li> <li>・クックチル方式の給食は好評であるが、弁当との選択が可能のため、喫食人数の報告・変更等については煩雑である。</li> <li>・1・2号児両保護者から理解を得られる手紙や案内文の工夫が求められるなどこども園ならではの難しさがある。</li> <li>・怪我や発熱への対応は看護職員がいることで安心である。</li> </ul>
俵口幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未就園児を幼稚園に招く機会を増やし、就園率を上げる努力をしている。(未就園児の集いや夏祭り、観劇等随時)</li> <li>・伝え合う力の育成に力を入れたい。そのために元気に挨拶を交わすことを大切にしている。</li> <li>・園周辺は緑が多く、自然に恵まれているが、イノシシやサルなどによる被害も多く、園児の安全確保が不安でもある。</li> <li>・預かり保育利用者増加の対応に苦慮している。</li> </ul>
あすか野幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・172名中124名がバス通園児であり、園児の体力作りに力を入れた保育を取り入れている。遊びの内容や散歩を充実させて、外遊びの好きな子どもの育成を目指している。</li> <li>・保育内容の「見える化」を継続。掲示板を有効利用したタイムリーな写真掲示やカラーの配布物の工夫とともに、読み手に伝わりやすい内容を心がける。</li> <li>・学年主任会を強化し、職員間の連絡体制を強化する。</li> </ul>

桜ヶ丘幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い教員を園全体で育成するために、園内研や研修会のもち方等を工夫している。</li> <li>・園の特色である「運動遊び」と地域ボランティアの力を借りての「食育活動」を中心にした保育を推進している。</li> <li>・小学校への接続を円滑にするため、園の教育内容がわかる園内研での交流を新たに計画して進める。</li> </ul>
壱分幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良県立教育研究所から「幼児期の教育と小学校教育の育ちをつなぐ幼小接続事業」のモデル地域の指定を受け、取組みを進めている。また、11月には県放送教育の公開保育も受けているので合わせて研修を実施している。</li> <li>・人とのかかわり、体力作りに重点を置き、その達成のために活動を選んで実施していきたい。</li> </ul>
南こども園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園・保育園と園の中で変更できるため、園を退園する必要がなく、子どもにとっては良い環境である。</li> <li>・完全給食化を目指して、年間4回の試食会を実施し、給食の良さを伝えていくように計画している。</li> <li>・3歳以上児のクラスが3クラスずつあり、多くのお母さん方と知り合うことが出来、子どもも人とかかわる力がついたと保護者から喜ばれている。</li> </ul>
小平尾保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児が少ない現状ではあるが、その現状を活用し、3・4・5歳児の縦割り保育を取り入れ保育の充実を図っている。</li> <li>・地域とのコミュニケーションを大切にしながら、土曜日の園庭開放を行うことで園への訪問回数が増え、園の特性を生かした子育て支援活動を行っている。</li> <li>・職員間、保護者との連絡を密にして子どもの保育にあたっている。</li> </ul>
ひがし保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら遊びを工夫することのできる環境づくりを目指して、年齢会議やクラス会議を行っている。</li> <li>・要保護家庭、一人親家庭、他府県からの転入、実家が遠い等の家庭環境が多様化している現状があり、保護者支援の充実を図っている。</li> <li>・園務分掌については、職員が自主的に計画して、進行していくチーム活動を取り入れて、進めている。</li> </ul>
中保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や幼稚園との交流を深めている。また、小学校との交流の必要性も感じ、少しずつ進めている。</li> <li>・現在、プール設置の場所に給食室の建て替えの事業を進めている。</li> <li>・職員数が多いので、朝礼やミニ会議を行って、連携をとっている。また、臨時職員との面談を行い、思いを聞くようにしている。</li> </ul>

報告第 1 1 号

平成 2 9 年度学校訪問（中学校）の結果について

平成 2 9 年度学校訪問（中学校）の結果について、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和 6 0 年 4 月生駒市教育委員会規則第 6 号）第 6 条第 5 号の規定により、別紙のとおり報告する。

平成 2 9 年 6 月 2 6 日提出

生駒市教育委員会

教育長 中 田 好 昭

## ＜平成 29 年度定期学校訪問（中学校）報告＞

### 1 目的

教育委員、教育委員会事務局が学校訪問することにより、学校経営、教育課程の運用、学習指導、生徒指導、安全教育、学校評価等、学校教育全般にわたり、学校の実態に即して、指導助言や研究協議を行い、各学校が主体的に、より充実した教育活動や特色ある学校経営が推進できるよう支援する。また、適切な人事配置ができるよう、教職員の人事に関する状況を把握する。

### 2 訪問日時並びに訪問者

学校名	訪問	訪問者
生駒中学校	5/22	中田教育長、神澤委員、坪井委員、城野課長補佐、八代指導主事、石岡指導主事
生駒南中学校	5/24	吉田管理主事、中田教育長、真銅次長、城野課長補佐、八代指導主事
緑ヶ丘中学校	5/30	吉田管理主事、坪井委員、城野課長補佐、滝澤指導主事
鹿ノ台中学校	6/1	吉田管理主事、山本委員、飯島委員、寺田委員、神澤委員、浦林委員、坪井委員、レイノルズ委員、城野課長補佐、滝澤指導主事、前田指導主事
上中学校	5/10	吉田管理主事、中田教育長、坪井委員、辻中課長、石岡指導主事
光明中学校	5/15	吉田管理主事、中田教育長、神澤委員、坪井委員、吉川課長、前田指導主事、八代指導主事
大瀬中学校	5/12	飯島委員、浦林委員、坪井委員、吉川課長、滝澤指導主事

### 3 ヒアリング内容

	内容
生 中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い先生を育てていくことが大切で、ベテランとお互いに刺激し合って切磋琢磨している。</li> <li>・不登校生徒の対応が課題である。小学校との連携も必要である。家庭訪問等で対応している。</li> <li>・19時に施錠するようにしている。家族と一緒に食事がとれるように、気持ちをリフレッシュさせて次の日の仕事に取り組めるように努めている。</li> <li>・HPと学校だよりを自治会に配ることで学校の情報発信をしている。</li> <li>・昨年度1学期の途中から校歌を歌うようにした。活発な生徒総会が行われた。</li> </ul>

南 中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模校のため校務分掌の兼務が多く、教員は多忙である。水曜日に早期帰宅を声かけるが難しいのが現状である。</li> <li>・月1回不登校親の会を実施し、カウンセラーも同席して交流している。</li> </ul>
緑 中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の分掌に偏りがある。そのため勤務時間が長くなる教員がいる。</li> <li>・学年組織中心の学校運営から組織的な教育活動ができるようにしたい。</li> <li>・校務要職の世代交代を意識的に進める必要がある。また、管理職を希望する教員を育成したい。</li> <li>・教科指導の評価について、研修を進め改善したい。</li> </ul>
鹿 中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力状況調査の結果が全国を上回っているが、その分課題が見えにくくなっている。学習支援部を立ち上げ、結果をより深く分析できるように取り組みを始めている。</li> <li>・教職員の意識改革を常に図っている。教職員一人一人が何をすべきかという意識を持って取組を進めている。</li> <li>・様々な活動を地域の方にもかかわってもらって進めている。今年度は「エコフェス」を「鹿フェス」と改め、地域とつながる場としたい。</li> <li>・水曜日は部活動を無しとし、会議を早く終わるようにして、6時半施錠を目標にしている。</li> </ul>
上 中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校の解消が一番の課題である。eルームを活用して教室へ戻れるよう取組を進めている。</li> <li>・部活動の休養日は各クラブで工夫をして日程を調整している。</li> <li>・教員がお互いの授業を参観できるよう、教育週間に合わせて参観期間を設定している。</li> </ul>
光 中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ、体育館等湿気が多く、特に壁や床が老朽化している。</li> <li>・生徒間のトラブルに、小学校時代のものを引きずったり、立場が逆転したりすることによるものがある。6月を命を考える月間とし、生徒の実態把握や講演会を行う。</li> <li>・幹線道路の交通量が増え、西白庭台の生徒の自転車通学が心配である。</li> </ul>
大 中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全教育プロジェクトチームの結成し、顧問者会議を月2回行う。</li> <li>・7月を命を守る月間とする。AED講習を生徒・保護者・職員に行う。</li> <li>・重点課題の設定に教職員を参加させる。人事評価の活用で教職員の能力と意欲を引き出す。</li> <li>・あいさつ運動など幼・小・高や地域と協働した取組を実施している。</li> </ul>

#### 4 前年度と今年度の重点目標

	H28 重点目標	H29 重点目標
生 中	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生き生きと活動する学校づくり</li> <li>②自ら学び考える力を育てる学習指導</li> <li>③豊かな人間性を育み、生き方を深める指導</li> <li>④生命を大切に作る心や人権を尊重する人権教育の充実</li> <li>⑤明るく健やかな生活形成とたくましい体力づくり</li> <li>⑥教職員の資質向上と機能的で安全な環境整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生き生きと活動する学校づくり</li> <li>②自ら学び考える力を育てる学習指導</li> <li>③豊かな人間性を育み、生き方を深める指導</li> <li>④生命を大切に作る心や人権を尊重する人権教育の充実</li> <li>⑤明るく健やかな生活形成とたくましい体力づくり</li> <li>⑥教職員の資質向上と機能的で安全な環境整備</li> </ul>

南 中	①魅力ある学校づくり ②「確かな学力」の定着 ③人間性豊かな生徒の育成 ④安全で開かれた学校づくり ⑤健康でたくましい心身の育成	①「発信する、開かれた学校」を重視した教育 ②教育者としての使命を自覚し、専門職としての資質向上 ③「人権を大切にしやさしさとあたたかさのある」学校づくり
北 中	①自ら学ぶ意欲と態度を培う学習指導を推進 ②豊かな心を育てる道徳教育・市と指導の推進 ③健康な心身とたくましい体力づくりの推進 ④特別支援教育の充実 ⑤生徒一人一人のために研鑽に励む	北小に同じ
緑 中	①安全で開かれた学校 ②確かな学力の育成 ③自尊心や自己有用感の向上 ④健康でたくましい心身を育成	①教科指導の充実 ②生徒指導の充実 ③開かれた学校づくり ④生徒の自主活動の充実
鹿 中	①わかる授業の推進 ②積極的な生徒指導の推進 ③心を耕す教育の推進 ④読書活動の推進	①「主体的・対話的で深い学び」の推進 ②わかる授業づくりの推進 ③心を耕す教育の推進 ④【目指せあいさつ・そうじ日本一運動】の推進 ⑤読書活動の推進 ⑥環境教育の推進(エコスクール)
上 中	①授業力向上のための授業研究 ②不登校生徒への支援 ③いじめ解消に向けた取組	①授業力向上のための授業研究 ②不登校生徒への支援 ③いじめ解消に向けた取組
光 中	①生徒にとって一日が楽しい学校 ②組織として機能する学校 ③保護者と地域に信頼される学校	①生徒にとって成就感や達成感を味わい、一日が楽しい学校 ②人権を尊重し、優しさと温かさのある学校 ③保護者と地域に信頼される学校
大 中	①授業力の向上 ②きめ細やかな生徒指導 ③開かれた学校づくり ④「チーム大瀬」として教育活動の推進	①授業力の向上 ②きめ細やかな生徒指導 ③開かれた学校づくり ④「チーム大瀬」として教育活動の推進

(白抜き数字は特に重点を置いている目標)

議案第 17 号

平成 29 年度生駒市教育委員会の活動の点検及び評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条に基づき、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和 60 年 4 月生駒市教育委員会規則第 6 号）第 2 条第 5 号の規定により、別冊のとおり提出する。

平成 29 年 6 月 26 日提出

生駒市教育委員会

教育長 中 田 好 昭